



山口産業株式会社

本質から優しい革をつくることにごたわ。

山口産業は環境にもめし職人にも優しい「植物タンニン鞣し」の皮革(「ラセツテレザー」)を製造するタンナー。原料となる豚の皮は、厳格な動物福祉の基準をクリアした養豚場からの仕入れするなど、徹底して本質から「やさしい革」を作ることにごたわり続けています。

2022年4月に本社のリノベーション工事が完了し、山口産業では2023年から本格的に工場見学会が再開となりました。「MATERIAL FACTORY」や「MONY FACTORY」など、各フロアにオリジナルのイラストが、壁に描かれた明るいスペースが広がります。小窓からは、大きなドームが回る革工場の内部も見ることが出来ます。

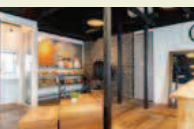
2階以上だと、築50年の本社の太い梁を活かした「ワークショップベース」20名ほど入るこの場所で、山口社長が自らセミナーや販売会などを行います。

毎週土曜日には、「山口産業の革工場見学会、やさしい革の博物館探訪」を定期開催。なかみが見えるので、きない工場内部を、事前申込みすれば誰でも見学できるため、毎週申込みが絶えません。また定期的に開催する「MATERIAL FACTORY」は、獣害対策後に廃棄されがちな獣皮を、資源として活用するための情報などをレクチャー。獣革利活用を知

Recommend



やさしい革の博物館
常設展示品や三上数馬氏による皮革壁画などヒクチャーウィンドウで工場内を180度見渡すことのできる東京都墨田区認定の博物館です*入場無料



イベント開催
全国で有害駆除される豚や鹿の獣皮利活用を推進するためのセミナーやマッチングイベントを定期開催しています

りたい方であれば、個人・法人・自治体などに関わらず参加できます。

工場内にはミュージアムショップ併設

工場内のミュージアムショップでは、近隣の就労支援施設で作製された革ハンドルの東袋の販売や、販売された鹿革で仕立てた「LEATHER CIOUS」オリジナルジャンパーの受注販売も開催。

社長の山口明宏さんは、将来の皮革業界を見据えた動物福祉、獣害対策、環境への取り組みや、途上国への技術協力など生産者と消費者を繋ぐ、新しい時代の皮革業界のあり方の模索を続けています。「これからは新たな販売ルートを開拓しながら、自分たちの力で製品を販売して行きたい。SDGへの意識が高まる中で皮革業界にも大きなチャンスが広がっていると感じます。」と笑顔で語っていました。

株式会社 山口産業

【山口産業株式会社】販売代理：一般社団法人やさしい革
〒131-0042 東京都墨田区東墨田 3-11-10
電話 03-6661-8775
FAX 03-3613-3239
mail info@yasashii-kawa.org
HP: https://www.y-leather.jp/ (やさしい革のサイト)
WebShop: https://www.y-leather.shop/
代表取締役 山口 明宏

MAP 09

HP



代表取締役
山口 明宏

RUSSETY FACTORY&MUSEUM タンナー工場見学や工場直売会を開催



福島化学工業株式会社

ノックロム・ノンホルマリンの素材開発

原皮の仕入れに始まり、皮のなめしから染色、仕上げまで、一貫した生産が特徴である福島化学工業。人と環境に配慮した真っ白なレザー「オルガノホワイト」をはじめ、「ラインク」等に使用されるオリジナルの7種の素材が、ノックロム・ノンホルマリンの「日本エコレザー」の認定基準をクリアしています。特に「オルガノホワイト」は、インクジェットプリント用の下地として使われることが多く、バステルカラーを染色する場合はなじみもなく、きれいに表現できるのがクリエーターに支持されています。傷や肌荒れが少ない原皮を選び分けるので、全体のうち一割程度しか取れない希少な素材です。

工場内のクリーンな環境作り

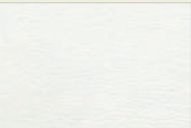
すぐ隣の工場では、四代目の泉正子さんを中心に、改めた清掃や安全管理などを見直し、クリーンな環境作りが行われています。使い込まれた大きな木製のドラムは、近年代替部品も少ないため、今の段階からしっかりと修理して、今後も長く使えるように整えているとのこと。

「特に原皮選びから鞣すまでの工程は、界限でも行える企業が少なく、なつたこともあり、私たちの大きな強みにもなっています。ビッグレザーは、牛革と違って国内で生産できる唯一の皮革です。食肉から出る

Recommend



オイルアニリン
タンニンなめし革をオイルで仕上げ革らしさを表現



オルガノホワイト
人と環境に配慮したエコ素材

■ オルガノIIの特徴 ■
日本エコレザー基準認定革
新 No.210003 旧 No.150060

1. 六価クロム及びクロムの使用はしていないので検出されません。
2. 焼却してもダイオキシン等の有害物質が発生しません。
3. ホルマリンも検出されません。
4. 白色で使用する場合は、無黄変です。
5. 染色性も良いです。下地が白いので特にバステルカラーが綺麗に表現できます。
6. 人体に無害です。

福島化学工業 株式会社

〒131-0042 東京都墨田区東墨田3-9-17
電話 03-3616-0010
FAX 03-3616-0013
mail char@fukushima-kagaku.co.jp
HP: http://www.fukushima-kagaku.co.jp

代表取締役 福岡 不二子

MAP 08

HP



代表取締役
福岡 不二子

日本エコレザー認定基準をクリアする素材づくり。清掃や安全管理も徹底



革を鞣す時、染色する時、大きな木製のドラムに入れて回転し攪拌させる。水の硬度や水温、気温、薬剤の量、革の性質など職人の経験でコントロールする。

革の製造風景



ナイフカットの試行錯誤が、小さなサンプルとなって積み重なっていく



革漣(かわすき)コンマ数ミリの誤差も許されない。常に厚みを測りながら革をスライスし厚みを合わせる。

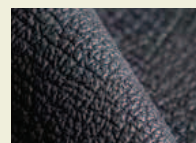
革はゆっくり風を通しながら乾燥させることで
仕上がり後の素材が安定する。
昔はあちこちの工場
乾燥させる風景が見られた。

企業 クリエイター 一般(ネットショップ)

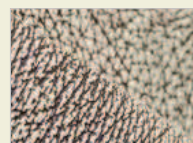
KUSAKABE Shark LEATHER CO.



Recommend



シャーク・ブラック
使い込むほどに艶が出ます。高級感ある光沢



シャーク・モノトーン
表面の凹凸を生かした濃淡が美しい

日下部工業所 有限会社

〒329-4401
栃木県栃木市大平町牛久659
電話 0282-22-2354
FAX 0282-25-6354

代表取締役 日下部 剛

地図



代表取締役
日下部 剛

有限会社日下部工業所

シャーク・スキンを扱うタンナーです

石井製革所	131-0042	東京都 墨田区 東墨田 3-18-7	03-3611-3237
石居みお皮革	131-0042	東京都 墨田区 東墨田 3-21-13	03-3616-8264
(株)エセカ	131-0042	東京都 墨田区 東墨田 3-15-19	03-3613-8851
小川化学(有)	131-0042	東京都 墨田区 東墨田 3-15-15	03-3611-4907
(有)兼子皮革染色工場	131-0042	東京都 墨田区 東墨田 3-14-25	03-3612-3710
(有)T.M.Y's	131-0042	東京都 墨田区 東墨田 3-14-21	03-5630-8189
(有)ティグレ	272-0813	千葉県 市川市 中山 1-7-15	090-1658-4860
墨田革漣工業(株)	131-0041	東京都 墨田区 八広 4-43-4	03-3613-2131
(株)墨田キール	131-0041	東京都 墨田区 八広 4-9-2	03-3617-8551
墨田産業(株)	131-0042	東京都 墨田区 東墨田 3-5-18	03-3617-4411
(有)田丸製革所	131-0042	東京都 墨田区 東墨田 3-6-5	03-3611-3062
長坂染革(株)	124-0006	東京都 君津市 堀切 1-34-8	03-3691-1161
栃木レザー(株)	328-0033	栃木県 栃木市 城内町 2-1-4	028-224-0666
(株)ニシレザー	131-0042	東京都 墨田区 東墨田 3-5-3	03-3616-4961
福島化学工業(株)	131-0042	東京都 墨田区 東墨田 3-9-17	03-3616-0010
本田産業(株)	131-0042	東京都 墨田区 東墨田 2-16-1	03-3611-0205
本田皮革(株)	131-0042	東京都 墨田区 東墨田 3-12-1	03-3611-2992
まる幸商会	131-0042	東京都 墨田区 東墨田 2-22-7	03-3611-1352
山口産業(株)	131-0042	東京都 墨田区 東墨田 3-11-10	03-3617-3868
山巴皮革染色(株)	131-0042	東京都 墨田区 東墨田 3-15-9	03-3616-2355
トウキョウレザーファクトリー	131-0046	東京都 墨田区 京島 1-8-8	03-6821-1960

ビッグスキン取り扱い業者リスト

東京都および東京製革業産地振興協議会は
東京都の特産品ピッグスキンをアピールするための活動をしています。

ピッグスキン・ファッションショー

繊維総合見本市JFW-JAPAN CREATION内で、
ピッグスキンファッションショーを開催。
東京の若手を代表するデザイナーと東京都内の
専修学校各種学校の生徒たちの作品が一同に集まります。
多様な加工技術を持つピッグスキンだからこそ、
作品のバリエーションに対応できるのです。



JFW-JAPAN CREATIONや
東京レザーフェアへの出展

繊維総合見本市JFW-JAPAN CREATIONや
皮革の総合展示会・東京レザーフェアに
東京の皮革「TOKYO LEATHER PIGSKIN」として出展
ファッション業界や皮革業界にアピールしています。
これらの展示会は、ものづくりをするクリエイターも来場可能。
新しい素材に出会うこともできます。

ピッグスキンのブランド開発

すみだのピッグスキン工場は、素材だけではなく、
製品を通じて革の魅力を知ってもらおうと独自の
商品開発を進めています。
製品を活かす革、革を活かす製品が生まれ、
いくつものブランドが世に出ています。



新素材の開発

皮革素材のプロ監修のもと、各社の強みを活かしながら、
海外や国内のトレンドを加味して新しい素材を開発しています。
ベースになる素材に、各種加工を組み合わせることで、
これまでにないオリジナル素材が開発されています。

ギフト・ショーへの出展

毎年、ピッグスキンを使ったブランドが、生活雑貨の
国際見本市である東京ギフト・ショーに出展しています。
東京にも革の産地があると知り驚かれる方もいます。
東京産のピッグスキンの魅力をお伝えし、
全国の小売店に販路を広げています。



皮革素材の試験や技術の相談は

東京都立皮革技術センター

東京都の伝統的地場産業である皮革関連産業の
技術向上を目的に開所され、皮革に関する研究、
試験、技術支援や相談などを行っています。
皮革全般に対応する皮革技術センター(墨田区)と、
靴やはきものが専門の台東支所があります。

〒131-0042
東京都墨田区東墨田3-3-14
☎ 03-3616-1671
FAX.03-3616-1676
<http://www.hikaku.metro.tokyo.jp/>



教育機関や企業・団体等の見学を
受入れています。見学時間1時間。

施設
見学

豚皮の有効利用、ピッグスキンの
新規用途開発、革の特性、副産
物・廃棄物の有効利用などの研究
を中心に行っています。

研究



皮革原材料や製品等の各種試験を
行っています。引張強さ、伸び、
吸水性、耐水度などの物理試験や、
染色堅牢度、皮革の物性などの試
験をします。受託試験はご相談く
ださい。

試験



代表的な皮革のサンプル、多様な
ピッグスキン素材、ピッグスキン
を用いた製品が展示されています。

展示
室

皮革製品等の品質向上・生産
工程の改善を図るための研修
や講習会を開催しています。

研修・
講習会



実験棟内に縫製・染色・仕上げ用
機械等を設置し、皮革関連業界に
開放しています。新製品の開発や
新技術の習得など、試験室として
ご利用いただけます。
■開放機器：ステアレス製ドラム
(大・小)・空打ち太鼓・真空乾燥
機・パフイングマシン・ポリッシ
ングマシン・吹き付け塗装プ
ー・グレージングマシン・油圧式
型押しプレス・ネット張り乾燥
機・その他

開放機器の貸出


皮革製造や皮革製品に関する諸問
題について相談・助言を行って
います。

技術
相談


01 石居みさお皮革販売代理店
中村貿易株式会社
 墨田区押上3-62-3中村ビル
 TEL.03-6657-4440




02 **株式会社エセカ**
 墨田区東墨田3-15-19
 TEL.03-3613-8851




03 **墨田革漉工業株式会社**
 墨田区八広4-43-4
 TEL.03-3613-2131




04 **株式会社墨田キール**
 墨田区八広4-9-2
 TEL.03-3617-8551




05 **有限会社 T.M.Y's**
 墨田区東墨田3-14-21
 TEL.03-5630-8189




06 **長坂染革株式会社**
 葛飾区堀切1-34-8
 TEL.03-3691-1161




07 **株式会社ニシノレザー**
 墨田区東墨田3-5-3
 TEL.03-3616-4961




08 **福島化学工業株式会社**
 墨田区東墨田3-9-17
 TEL.03-3616-0010



09 **山口産業株式会社**
 墨田区東墨田3-11-10
 TEL.03-3617-3868



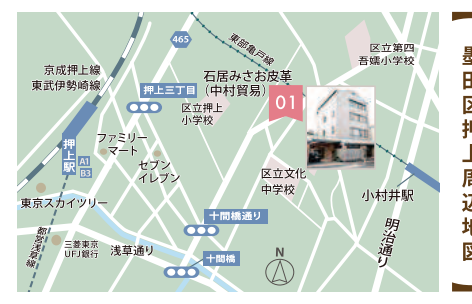
10 **東京都立皮革技術センター**
 墨田区東墨田三丁目3番14号
 TEL.03-3616-1671



京成電鉄 押上線「八広駅」から徒歩15分
 JR総武線「平井駅」から
 都営バス「上23系統」(「上野松坂屋前行」又は「青戸車庫前行」)乗車
 バス停「東墨田三丁目(都立皮革技術センター前)」下車
 徒歩3分

TOKYO LEATHER PIGSKIN 2024

企画制作：株式会社ソーシャルデザイン研究所
 徳永 美子 (design.T.rooms)
 協 力：一般社団法人日本皮革産業連合会
 東京都立皮革技術センター
 デザイン：038design 小澤恵美
 イラスト：小澤恵美 (P.12~13) / Rino (P.10~11) / 草間麻衣子 (P.14)
 取材：川崎智枝、鈴木清之
 撮影：馬杉真理子、増田義和
 印刷：株式会社サンコー
 2023年10月発行



**ピッグスキン
工場マップ
Tokyo**
 東墨田・八広地域



東向島
 至 言問橋

三菱東京UFJ銀行
 至 業平橋

京成曳舟駅
 ↓京成曳舟駅

京島

明治通り

中居堀
 ひがしん吾妻支店

きらぼし銀行吾妻支店

向島警察署
 入口
 向島警察

至 亀戸